

煌めく

オンリーワン・ナンバーワン

企業

2016
年版

21世紀を拓くエクセレントカンパニー

オンリーワンの パイプ加工業一筋に65年

業界トップを走るパイプベンダーのパイオニア

「お客様が求めているものをいかに現物化できるか。試行錯誤を繰り返しながらオンリーワンの先端技術開発に勤しんでいます」



千代田工業株式会社

代表取締役社長

遠越 英行

大阪市淀川区に本社を構える千代田工業株式会社は昭和26年の創業以来65年、パイプ加工の機械製造一筋を貫いて発展・成長を遂げてきた。

「創業者が作った会社を発展・永続させて次の世代に託すこと。これが私の役割だと思っています」
噛みしめるように話す遠越英行社長が千代田工業の社長に就任したのは昭和61年のことだ。創業者である父親の遠越準一前社長から経営のバトンを託された。2代目の遠越社長は千代田工業入社以来、開発、設計、資材、総務、人事、経理、営業など会社のありとあらゆる部署を経験して会社の全てを把握してきた。まさに満を持しての社長就任と言える。

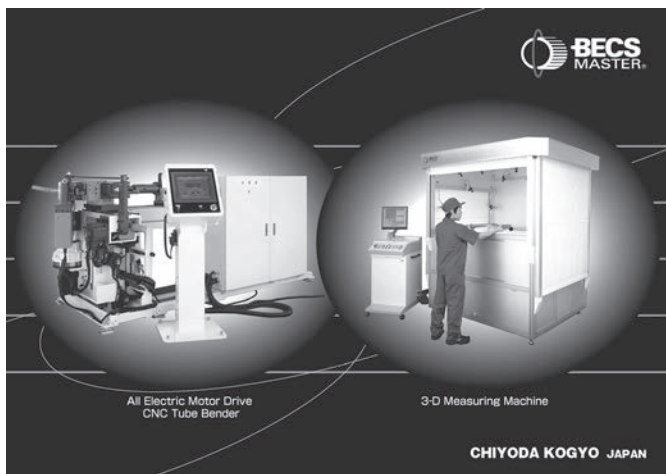
「先代の時代から現在までこうして会社経営を続けてこられたのは、お客様や従業員、取引先をはじめとした周りの皆様の温かい支えのおかげです。こうした皆様の期待に応えられるような経営をしていかなければ、と常に自分に言い聞かせています」

会社設立から着実に業績を拡大してきた千代田工業は現在、大阪本社工場に加えて静岡・浜松、さらにタイ・バンコックに生産拠点をもち、営業所は全国の主要都市、世界に広がりグローバルな事業展開を行っている。

世界中であらゆる産業を支える加工パイプ

海外市場で「BECS MASTER」をアピール

千代田工業のメイン商品である金属パイプ加工用の機械は世界中の幅広い産業分野で活躍している。「パイプ加工品は人体の血管のように、プラントや機械設備、さまざまな工業製品など産業のあ



世界市場でアピールする BECS MASTER の製品

らゆる所で使われています。例えば建設現場の足場や手すり、船舶のボイラーや窓枠、航空機のエンジン配管、二輪車のハンドルやフレーム、自動車のマフラー、座席シート、ブレーキチューブなど。さらに管楽器やデザイン家具、医療機器、空調機器にも用いられています。加工パイプは世界中のあらゆる産業を支えているのです」

千代田工業の取引先もさまざまな業種に及び多岐にわたる。クボタや川崎重工業、神戸製鋼所、トヨタ自動車、日産自動車、ホンダ、パナソニック、日立製作所といった日本を代表する大手企業をはじめ、北南アメリカ、中国、韓国、東南アジア、オセアニア、ヨーロッパ、中東、アフリカなど世界各国に広がり、国内外合わせると取引企業は千数百社にのぼる。

「これだけ多くの企業と取引させて頂いているのは、当社がこれまで培ってきた技術とノウハウの賜物だと思います」と胸を張る遠越社長。

千代田工業は創業以来、クライアントのニーズに応えるべく常に最先端の技術を追い求めてきた。昭和28年に国内で初めてパイプベンダー（パイプ曲げ機）を開発し、その後も他社の追隨を許さない独自の技術改良を加えて業界の先頭をひた走ってきた。そして平成16年には海外進出に乗り出し、世界市場でアピールするためのアイコン、BECS MASTERブランドを立ち上げた。

「先端の機械設備と精鋭のスタッフが、当社独自のオンリーワンといえるパイプ加工技術を実現しています。こうした私たちが提供するサービスの総称がBECS MASTERです」

BECS MASTERはBending（曲げる）、Expanding & Swaging（拡張・絞る）、Cutting（切る）、Simulation & Measuring（測る）という一連のパイプ加工技術の達人（Master）という意味をもつ。

「私たちの取り組みはただ機械を納品して終わりではありません。パイプ加工のスペシャリストとして、納品からアフターフォローまで、個々のお客様の要望や現状に合わせて、長きにわたってトータルにサポートをさせて頂きます」と遠越社長は熱っぽく語る。

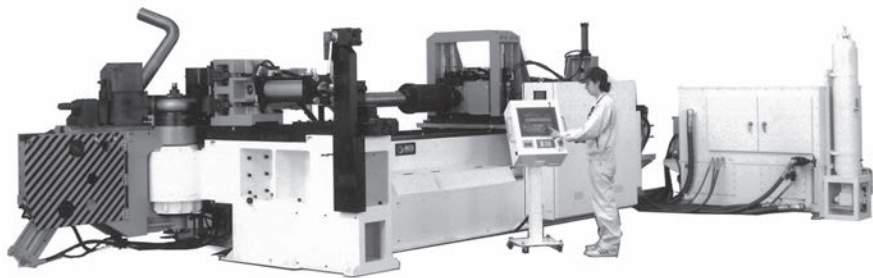
ニーズに合わせた個別生産でオンリーワン機械を製造 24時間体制の徹底したアフターサービス

千代田工業ではクライアントへ機械を納品する前に、必ず専門スタッフがクライアントの工場を訪問して詳しく現場の話を聞く。

「お客様の生産現場の実情をしっかりと掴み、お客様の要望を身近に聴いてニーズに即した最適な提案に繋げていきます」

個々のクライアントの実情に即して予算や仕様を決定し、必要に応じて付加機能や省力化の提案を行い、最適な機械生産を行っていくのだ。

「私共のこだわりはクライアントの個々の要求にしっかりと対応して、高品質な製造機械を作る



幅広い産業分野で活躍する金属パイプ加工機械

ことです。きめ細かなクライアントのニーズに応じていく点でこのメーカーにも負けないという自負があります。ぶれることなく今後もお客様本位の最適サービスの提供に邁進していきます」と力を込める。

千代田工業の機械製造現場は機械の基本性能を保つゼネラリストと、クライアント個々のニーズに対応したカスタマー仕様を開発するスペシャリストがいる。両者の緊密な連携作業によって個々のクライアントの細かなニーズに合わせたオンリーワンの機械を製造することができるのだ。

「お客様に安心して長く使って頂くために、あえて非効率な個別生産にこだわり、1台1台入念に時間をかけた機械づくりを行っています」

こうした事情から、千代田工業の製品価格は一般相場よりも高めに設定されている。それでも多くのクライアントから指名されて高い信頼を得ているのは機械のクオリティ、品質の良さだ。

「価格を高め設定せざるを得ないのは、製品の機械設備に最高品質の部品を採用しているためです。これによって耐用年数が長く、長期の運用に耐えることができます。汎用の機械なら5〜6年もすれば耐用に限界が来ますが、当社の機械は10年、20年の長期間の使用に耐えます。耐用年数は当社製品の大きな特長の一つです」と遠越社長はアピールする。

千代田工業の製品である機械設備が長期の運用を可能にするもう一つの要因が、機械納入後のアフターサービスの充実だ。遠越社長は、「専門スタッフの定期的なメンテナンスとこれに対応して常に完璧な補給部品の備えなど徹底したアフターサービスは当社ならではのものです」と強調する。

例えば大手の自動車部品メーカーでは24時間休むことなく工場の生産ラインが稼働しているが、万一機械のトラブルで生産ラインが止まってしまえば大きな損害を被ることになる。それだけに「お客様の工場の生産ラインを絶対に止めないようにすることが大切」なのだ。

千代田工業ではサービスを日常的に待機させ、24時間365日いつでも対応できる体制で臨んでいる。「おかげさまで当社のお客様の中で生産ラインを止めるトラブルはこれまで一度もありません」

社員の頑張りで質の高いサービスを提供

お客様のニーズや動向、評価が何より大切

量産型ではない完全受注生産と定期メンテナンスや24時間体制の徹底したアフターサービスを実践する千代田工業。大量生産、大量販売時代の今日、売って終わりの海外メーカーが多数を占めるパイプベンダー業界の中で、こうした千代田工業の取り組みは輝かしい異彩を放つ。

「経営効率や細かい儲けのことを考えればもつと無駄を省ける部分もあると思いますが、今のやり方を変えるつもりはありません。採算は二の次で、全てはお客様に喜んで頂き、満足して貰うことが大切です」と遠越社長は屈託なく言っている。

こうした千代田工業の企業風土、経営理念を醸成し支えているのが精鋭の社員一人ひとりなのだ。



平成2年に新設した静岡県・浜松工場

千代田工業は創業から今年65年を迎える。パイプ加工業一筋で実績を積み上げ、今日業界では「CHIIDODAブランド」が確固たる地歩を築いている。

「当社の仕事は決して派手なものではありませんが、社会の様々なシーンに貢献できるとてもやりがいのある仕事です。お客様から信頼を頂き、必要とされる限りは今の取り組みを継続していかねければなりません。次代を担う若い世代の従業員をしっかりと育成して社会の役に立っていききたい」と決意を新たにします。

日々の業務の傍ら千代田工業では平成3年から「公益信託チヨタ遠越準一文化振興基金」をスタートさせて社会貢献事業に取り組んでいる。この基金は遠越社長の父である遠越準一前社長が設立した。

「平成2年に当社は静岡県の浜松に工場を新設しましたが、その折工場誘致や建設で地元の方々の多くの方々から厚いご支援を頂きました。その恩返しに地元の方々の文化事業に何らかのお役に立てればと振興基金が設立されました」

基金設立以来毎年、静岡県西部で文化活動や、文化的な町づくりを進めてきた個人や団体に助成金を届けてきた。平成27年は地域のスポーツクラブや交響楽団など50の団体に計894万円の助成を行った。振興基金設立からの累計助成額は2億円を超えるなど、これまで県の文化活動に大きく貢献している。遠越社長は、「父の意思を継いで今後も微力なが

現在千代田工業には約120人が働いている。これら社員に対して遠越社長は、「お客様に質の高いサービスを提供できているのは社員の頑張りがあったことです。みんなが誇りをもって仕事に向き合ってくれる優秀な社員ばかりです」と全幅の信頼を寄せる。

人材を何より大切に考える遠越社長は、社員が気持ち良く働ける職場環境づくりに力を注ぐ。その一環として「モチベーションアップに繋がれば」と定期的な食事会や様々なイベント行事を実施している。優れた社員を擁する千代田工業だが、時に社員がヘッドハンティングに合うこともあるという。ところが遠越社長は、「それは他社が当社の社員が優秀であることを認めている証です」と意に介さない。

一方、千代田工業の独自技術が他社に真似されるケースも少なくないそうだ。これに対して遠越社長は、「海外でも当社の機械の模倣品がありますが、真似をされるのは良いことだと思っています。私たちも他社の良い所を参考にさせていただくなど、お互い切磋琢磨してお客様にとってベストな機械を生み出すことが大切だと思います」と語る。

現状に満足することなく、常により良い最新の技術とサービスを追い求める遠越社長の変る事のない経営スタンスの原動力は全て、「お客様のため」にあるという。

「私たちは完全受注生産のメーカーだけに、お客様のニーズや動向、評価が何より大切なことです。お客様が求めているものをいかに現物化できるか。そのため四六時中試行錯誤を繰り返しながらオンラインワンの先端技術開発に動んでいます」

専門特化で「CHIIDODAブランド」を確立 文化振興基金設立で地域へ恩返し

■ President Profile ■

遠越 英行（とおごし・ひでゆき）

昭和24年大阪府生まれ。神戸市外国語大学卒業。趣味は旅行・ゴルフ。座右の銘は「人は人、吾はわれ也、吾行く道を吾は行くなり」（西田幾多郎）

■ Corporate Infomation ■

千代田工業株式会社



所在地	〒532-0027 大阪市淀川区田川2-4-17 TEL：06-6309-1241 FAX：06-6306-2536
設立	昭和26年11月
資本金	7200万円
従業員数	120人
事業内容	金属パイプ加工機械製造、パイプ省力・自動化システム
営業品目	パイプ/チューブベンダー、パイプ端末加工機、パイプカッター、パイプ3次元測定機、パイプ加工ソフトウェア
営業所	株式会社チヨタ（東京） 千代田工販株式会社（大阪・名古屋・福岡・静岡・タイ・インドネシア）
海外サ ー ビス拠 点	アメリカ・中国・タイ・インドネシア・ドイツ
BECS MAS TER ブランドとは	BECS（曲げる、拡げる、切る、測る）とは、パイプ塑性加工を中心としたすべての金属パイプに関わる加工をMASTER（加工の達人）として、自社生産によるオリジナル機械によって加工の極地までこれ以上精巧にできないところまで探究した「完成されたパイプ加工美」を表現しています。

何より会社を、社員を大切にコツコツと
時代の変化に柔軟に対応し未来へ突き進む

ら地元で貢献していきたい」と力強く語る。

遠越 一前社長から会社を託されて約30年。常に先頭に立って会社の舵取りを行ってきた遠越社長は、「社員にできるだけ負担をかけないように」と誰よりも早く出社し、飲酒は控えて仕事第一を旨として自身の健康管理も怠りない。何より会社と社員を大切にしている遠越社長の、ストイックなまでのライフスタイルだが、「今後もやることは変わりません。お客様から信頼を頂けるよう、一日一日を大切に社員一丸でコツコツとやっていくだけ」

淡々と語る遠越社長だが、経営について「時代の変化に機敏に対応することは、経営を発展持続させる鍵です」と自らの想いを明かす。

「時代の移り変わりとともに景気も社会情勢も若い人の考えというのも変わっていきます。こうした変化の基調、時代風潮を敏感に捉えて、経営に活かしていくことも私たちに求められているのです」

パイプ加工機械でゆるぎない地歩を築いた千代田工業だが、トップの地位に安住することなく「BECS MASTER」の飽くなきチャレンジが続く。



9784888545006



1920034015001

ISBN978-4-88854-500-6

C0034 ¥1500E

定価 (本体 1,500 円+税)

発行 株式会社 ぎょうけい新聞社

発売 図書出版浪速社

企画 産経新聞生活情報センター

煌めく オンリーワン・ナンバーワン企業 2016年版

NKE株式会社 (京都府長岡京市)	代表取締役社長	中村 道一
京英ランド株式会社 (東京都大田区)	代表取締役社長	王 京英
株式会社クラスコ (石川県金沢市)	代表取締役社長	小村 典弘
株式会社クローバー管理 (福岡市中央区)	代表取締役	松原 清植
光青工業株式会社 (神戸市灘区)	代表取締役社長	橋本 玲子
株式会社佐田 (東京都千代田区)	代表取締役社長	佐田 展隆
株式会社資産工学研究所 (東京都千代田区)	代表取締役 所長	坂本 善博
株式会社島田電機製作所 (東京都八王子市)	代表取締役社長	島田 正孝
株式会社シンコーメタリコン (滋賀県湖南市)	代表取締役	立石 豊
千代田工業株式会社 (大阪市淀川区)	代表取締役社長	遠越 英行
東京遊覧観光バス株式会社 (東京都江戸川区)	代表取締役	石井 誠
日本カノマックス株式会社 (大阪府吹田市)	代表取締役会長	加野 稔
菱木運送株式会社 (千葉県八街市)	代表取締役社長	菱木 博一
株式会社プラン (埼玉県児玉郡)	代表取締役会長	大村 広司
横浜総合建設株式会社 (横浜市戸塚区)	代表取締役社長	安西 伸司
株式会社横引シャッター (東京都足立区)	代表取締役	市川慎次郎
有限会社渡辺酒造店 (岐阜県飛騨市)	代表取締役社長	渡邊 久憲